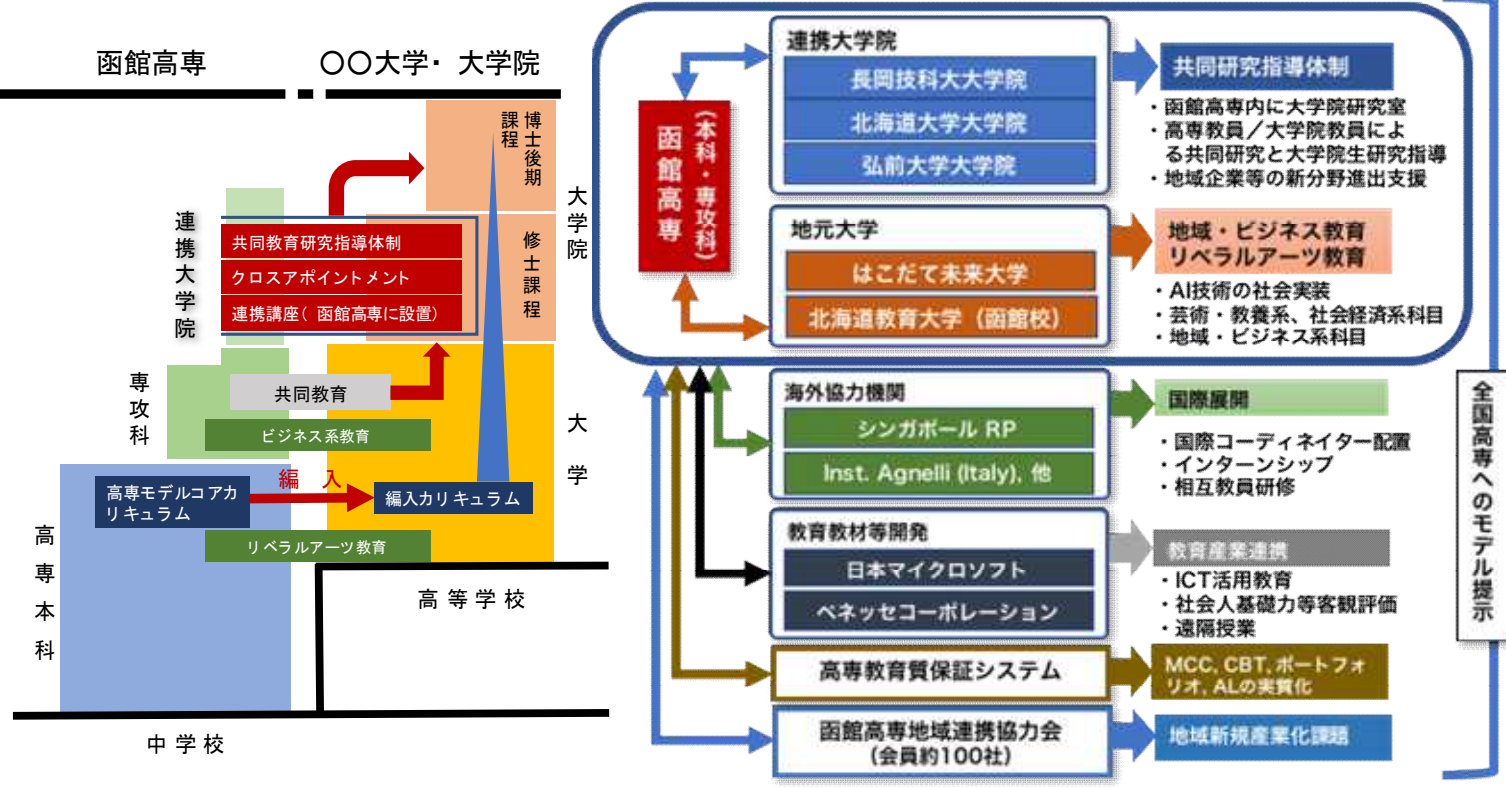


高専-大学・大学院接続システムによる実践力と研究力を持つ人材育成と国際性教育

【取組の目的、内容】

高専（専攻科）在籍中からの大学院との共同教育研究指導体制を築き、新産業をけん引できる研究能力と国際性を育成する「高専（専攻科）-大学・大学院の教育接続モデル」を提案する。海外教育機関との相互協力体制を強化し、さらに地域企業等の課題を共同研究としてこのシステムの中で実践させる。これらは高専本科におけるモデルカリキュラムによる教育システムにリベラルアーツ教育を加えた高専教育質保証システムに立脚するもので、その進化・発展も同時に進める。

【取組みイメージと連携体制】



【工程表】

	H29.7～	H29.10～	H30.4～	H30.10-
学外関連	連携大学と協議開始／リベラルアーツ科目選定／	大学との具体的教育体制協議／海外協力機関教育体制協議／インターンシップ制度／カリキュラム接続	連携研究室設置／共同研究テーマ選定／共同教育研究体制／編入カリキュラム設計	国際展開／共同教育講義／共同指導体制／クロスアポイントメント
学内関連	運営組織立上げ／関連制度の検討／国際CD任命・活動開始	担当教員選定／4学期制移行スケジュール／カリキュラム調整／共同研究テーマ／ジェネリックスキルアセスメント	連携研究室設置／遠隔授業実験／編入用MCC整備／カリキュラム接続／ICT活用教育	海外インターンシップ／共同教育講義／共同指導体制／ビジネス系教育展開／

【成果指標】

	H28年度	30年度(目標値)
専攻科の大学開講トライアル授業数	0件	3件
海外協定校との相互学生研修プログラム参加学生数	2名	5名以上
大学・専攻科連携による地域企業等の課題解決型共同研究数	0件	7件以上

【第4期中期目標期間への展開】
H30までに築いた大学との協力連携体制に基づき、高専-大学・大学院接続システムの制度設計を行い、学内の教育組織等を整備し、第4期期間内で修士学位認定できる体制を築く。